

# 絵画コンクール

上手に描けたよ

でいっぱいでした。賞を受賞した児童も、惜しくも受賞できなかった児童も一生懸命描いていました。では入選作品を紹介します。

(6面つづく)

6月8日、絵画コンクールの表彰式が行われました。

幼児、小学校低学年、高学年、中学生、高校生と各部門に分かれ、国分中学校の美術教諭に選考して頂いた金賞、銀賞、銅賞と職員が選んだ職員激励賞を発表しました。

受賞した児童は目を丸くし、驚いた後「やった。嬉しい」と喜びの声があふれました。

作品を見た児童は「めっちゃすごい、上手やわ」「あんな風に描けるようになりたい」と賞賛の声をあげました。



幼児の部 銀賞  
カエルとおさんぼ

幼児の部 金賞  
てつぼうにチャレンジ



低学年の部 銅賞  
サンリオだいしゅうごう

低学年の部 銀賞  
すみっこあつまれ

低学年の部 金賞  
星を見ている所



高学年の部 銅賞  
ニャンター

高学年の部 銀賞  
幸せを呼ぶクローバー

高学年の部 金賞  
クレヨンしんちゃん



中学生の部 銅賞  
アディダス

中学生の部 銀賞  
ダッキー&バーニー

中学生の部 金賞  
国分小学校卒業



発行者 南河学園

発行責任者 園長 伊山喜二

TEL (072) 975-2200

FAX (072) 975-2224

http://www.nankagakuen.jp

Eメール: info@nankagakuen.jp

広報委員会

## トピックス

1面 絵画コンクール 入賞作品

2面 メイクスマイル プロジェクト慰問

職員奮闘記

3面 グループ外食

4面 夏のイベント特集  
難波別院映画慰問  
ゼウス選手&  
SHINGO★西成さん  
来園

5面 ほのぼのコラム  
寄付・奇贈

6面 廃材工作作品

# 笑顔がいっぱい

メイクスマイルプロジェクト開催

昨年の6月に一般社団法人日本生活文化推進協議会様より、堺市にあるマクロパークに招待して頂き、毎年のお父の日に合わせて行われるメイクスマイルプロジェクトのイベントに参加しました。今年も声をかけて頂いておりましたが新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となってしまいました。しかし、今年は各施設に向かい

## いつもありがとう

女性職員に感謝する集い  
男性職員に感謝する集い

5月11日には女性職員に、6月21日には男性職員に感謝する集いが行われました。毎年の母の日と父の日に合わせて行われるこの行事は、児童会の主催で職員へプレゼントと手紙が用意されました。児童会会長より「普段は恥ずかしくてなかなか言えませんが…」と手紙が読み上げられると食堂は温



いつもありがとう

て頂ける計画に変更となり、6月21日に慰問して下さいました。当日は、協賛企業様から、たくさん飲み物やお菓子、遊び道具と感染防止用具を頂きました。

昼食には届いたばかりの握り寿司の盛り合わせとジュースとカレーを頂きました。児童は「めっちゃ美味しい」と大喜び、あつという間に握り寿司をたிரらけて更に「カレーも食べる」と驚くほどの食欲でモリモリ食べました。また、昼食に続いておやつにも頂いたお菓子を食べました。

かい雰囲気になりました。

そして、女性職員にはボーチが男性職員にはコップが手渡されました。それには手作りのメッセージカードが添えられており、読んだ職員から思わず笑みがこぼれていました。児童からの「いつもありがとう」との一言には「児童の為に」と原動力になる不思議な力が込められていました。「感謝には感謝を」とこれからも頑張ってくださいと職員一同で決意を新たにしました。



これからもよろしく

児童の顔からいつまでも笑顔が消えない一日になりました。



笑顔もお菓子もいっぱい

## 将来はパティシエ

手作りおやつ

7月24日のおやつ作りはアレレギー児童も一緒に作って食べられるように卵抜きクッキーです。材料を袋に入れてみんなで順番に生地がひとつにまとまるようにこねます。ある程度まとまったら平らに薄く伸ばし好きな型で抜いていきます。同じ型をたくさん抜く児童もいれば、一つずつ違う型を試す児童もいて、うさぎやクマや星やハートなど色々な形のクッキーが完成しました。

作ったクッキーは早速おやつとして提供され、自分たちで作ったクッキーを美味しくすることに大事に食べていました。残ったクッキーは職員におすそわけです。「事務所の先生はハート!」「園長先生は飛行機と船がいいと思う」など職員によってイメージする形が違うようで、相手を思い浮かべながら

# かれこれ11年

職員奮闘記

平成20年4月、私は南河学園に就職しました。大学の施設実習先が南河学園との出会いでした。

当時、数日間児童と共に過ごした施設での暮らしを知り、最終日に児童がくれた「学園の先生になってほしい」「なってくれたら嬉しいなあ」との手紙に、この子たちの今後に携わりたいと決意しました。それからボランティアで一年間、お世話になり、本園から声を掛けて頂き、就職を決めました。あれから長い年月が経ち、現在12年目に入りました。当時担当し

ていた小学1年生の児童は今春高校を卒業し、社会に巣立っていきました。彼らが社会で頑張っている事を耳にする度に、自分も頑張ろうという気持ちになります。また、今学園で過ごしている児童らには、ガミガミうるさく言う事もありますが、一人ひとりの成長に喜びを感じています。

更に、本園には日々多くの奇贈や招待、慰問行事があり、外部の方々への感謝もあります。これらすべてが、私のやりがいにつながります。児童の成長する姿を楽しみに、これからも頑張っていきたいと思えます。



## 美味しいね



8月13日のおやつ作りはクレープです。この日は里親さんの実習もあり一緒におやつ作りに参加していただきました。低学年には焼いたクレープ生地を配りトッピング

グを自由に選んでもらいました。口の周りにホイップクリームやチョコソースをつけながら「甘くておいしくて幸せ」と満足気な笑顔が見られました。高学年以上で自分で焼いてみたい児童は各自で焼きました。ホットプレートの上で丸く伸ばすところまでは順調ですがひっくり返すときになるとドキドキ緊張した顔に。「上手くひっくり返せるかなあ、失敗したらどうしよう」と不安を声に出す児童もいましたが、里親さんや職員に「大丈夫!なんとかなるよ!」と勇気づけてもらい思い切ってひっくり返していました。成功しても少し失敗しても自分で焼いてトッピングしたクレープは格別のように、美味しい美味しいと口いっばいに頬張っていました。

# たくさん掘れた

手掘り

6月27日、田辺池グラウンドにある貸農園にて幼稚園年長児と小学生低学年がじゃがいも掘りをしました。「いっぱい掘るぞ」「どれを抜けばいい？」とやる気満々。しかしなかなか抜けられないものもあり、「うんとこしょ、どっこいしょ」とどこかで聞いたことのある掛け声で奮闘していました。



ここにも ここにも

# 美味しいー楽しい！

バーベキュー

6月28日、附属保育園のグラウンドを借りてバーベキューを行う予定でしたがあいにくの雨模様となり、室内でホットプレートを使用してのバーベキューとなりました。

それでも児童は「はくも焼く」「私はウインナー係する」と天はしゃぎで楽しみながら食べていました。中には指導員に「僕が一生懸命焼きました。」と焼いたエビを差し出す児童も…。肉だけでなく、玉ねぎや



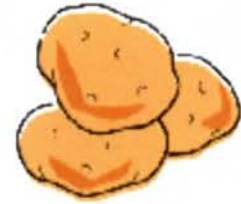
お肉でお腹いっぱい

焼きおにぎり、前日に収穫したじゃがいもを使ったじゃがバターなどたくさんおかわりし、みんな大満足のバーベキューとなりました。

# 星にねがいを

七夕の集い

7月7日、七夕の集いが行われました。七夕にまつわる織姫と彦星の話に児童は興味をもって聞いていました。今年の短冊には、「みんなが健康でいられますように」「早くコロナがなくなりますように」などの願い事がたくさんありました。その中で「芸能人に会いたい」と書かれた短冊に会場



たくさんじゃがいもが掘れたので、早速翌日のバーベキューでじゃがバターを作り食べました。

# 保育園のプール

保育園プール

7月23日、附属国分保育園の屋上プールを借りて小学1〜2年生10名で水遊びをしました。今年度は学校の授業がなかったため、児童は一年ぶりのプールに喜び、水鉄砲やバケツを使って勢いよく水を掛け合ったり、泳い

は笑いに包まれました。

最後に、七夕にまつわるクイズをしました。難易度の高いクイズですが児童は「これ知ってる」「これかなあ」と楽しそうに参加していました。全問正解した児童は「やったー」と大喜びでした。また、この日の献立は、七夕をイメージした三色そうめんとキラキラ光るゼリーでした。児童は大はしゃぎで「そうめんキレイ」「ゼリー可愛い！お星さま入ってる」と喜んで食べていました。

# あつあつで美味しい

グループ外食

コロナ禍で外出が制限される中少しでも出掛けられる行事を考え日替わりで数グループに分かれ、餃子の王将へ外食に行きました。事前に学園内にメニューを張り出すと毎日「どれにしようかな」と見定め、ワクワクしている児童が沢山いました。数あるメニューの中でも人気はラーメンとチャーハンでした。

待ちに待った当日、餃子の王将



願いが届くように

あいにくの曇り空での七夕でしたが、みんなの笑顔がキラキラ輝く七夕の集いとなりました。

だりして楽しみました。「ギャー」「きもちいい！」「つめたい！」と歓声をあげて笑い、あつあつという間に終了時間が来てしまうほど夢中になって遊びました。天気はあいにくの曇り空でしたが、暑すぎずちょうど良い気温でした。遊び終わってから「楽しすぎてお腹空いた、早くご飯食べたい」と話すほど楽しい時間になったようです。

に入店し料理が届くと「めっちゃ美味しい」「最高」とあつあついう間に完食でした。お腹いっぱい食べて、帰り道では何が一番美味しかったか語り合い、「また食べに行きたいね」と楽しい外食となりました。



# 大画面で迫力満点

映画鑑賞会

児童に大人気の映画鑑賞会が、多目的ホールに巨大スクリーンを設置して開催されました。5月23日に『アナと雪の女王』、30日に『トイ・ストーリー4』、8月23日は中高生にアンケートを取り『コンフィデンスマンJP』の運勢編を鑑賞しました。児童はゆったりとくつろぎながらも面白いシーンでは声に出し笑いました。上映後は「無限の彼方へ」と登場人物になりきって遊んだり、挿入歌を口ずさんだり「あんな展開になるなんて！」と感想を語り合い満足そうでした。そして「次の映画鑑賞楽しみ」と次回を心待ちにしていました。



冷たくて気持ちいい

### フィルム映画も面白い

難波別院映画館

8月4日、難波別院の方が慰問に来て下さり、学園ホールにて映画鑑賞を行いました。

15名の小学生低学年が『りゅうの目のなみだ』『アラレちゃんの交通安全』『グーフィーの上手な買い物』という作品を観ました。

スタッフの方が、キャラクターの面白い場面のお話や映画の待ち時間の合間に動物のものまねクイズをして下さり、終始笑いで溢れた時間となりました。

児童からは「アラレちゃんが面白かった!」「上手な買い物の方が知れて良かった」と色々な声がありました。



### たこ焼きくるくる

たこ焼きパーティー

8月11日の昼食は、食堂にてみんなでたこ焼きを作りました。

各班のテーブルにたこ焼きプレートが置かれそれぞれ生地を流し焼いていきます。初めは職員がたこ焼きを作る姿を興味津々に見ていた児童達も次第に「私もやってみたい」「俺に任せて!」と、上手にくるくると回して焼いてくれました。

### きれいやなあ〜

花火

8月13日、15日に学園グラウンドでグループに分かれ手持ち花火をしました。児童は「花火って今日やる?」「めっちゃ楽しみ」とウキウキしながら楽しみにしていたようです。

夜になり、暗くなると一人ひとりに手持ち花火が配られます。火に気を付けながら、持っている花火に点火して「綺麗」「すげー」と歓声が上がりました。



光の美しさに…

最後の線香花火ではみんなで輪になり、誰が最後まで残るか勝負しました。楽しい時間はあっという間に終わってしまいました。良い時間になりました。

## 夏のイベント特集

### 夏のお出かけ

グループ外出

8月12日と14日に、この夏に家庭への外出泊の無かった児童と職員でグループに分かれて八尾アリオへ出掛けました。

中学生は主に買い物を楽しみ、小学生グループのほとんどは、映画館へ『ドラえもん』の映画を観に行きました。ポップコーンを買って食べながら鑑賞する児童らは、観終わって「面白かったなあ」と喜んでいました。

昼食はフードコートや飲食店に入るなど、それぞれ好きなメニューを注文しました。唐揚げ定食大盛

### 夏はやっぱりお祭り

夏祭り

8月29日の夜、毎年恒例の法人の夏祭りを開催しました。今年は学園児童だけで実施しました。朝からテントを立てて提灯をぶら下げ祭りの準備が行われ、見ていた児童からは「楽しみやなあ」と声が上がっていました。



すくえるかな?

やつけ麺を注文したり、スターバックスでフラペチーノを注文したりと、普段なかなか食べる機会が無いものを選んでいました。

幼児グループは、国分周辺を散歩したり、買い物をしたりして過ごしました。

毎年のように遠くへ出掛け、レジャー施設への計画はできず小さい規模での夏のグループ外出となりましたが、それぞれ美味しいご飯を食べ、目当ての品も買い、大満足の日となりました。



出店には揚げたこ焼き、唐揚げ、かき氷、やきそば、おにぎり、フランクフルトや、当てもの、スーパーボールすくいがありました。一番人気はやはり当てものです。「当たるかなあ」とドキドキしながらくじを引き、「よっしゃ!当たった!」「悔しい」と目当ての物が当たる児童、当たらず悔しがる児童と様々でした。とても暑かったのかかき氷も人気でした。カップからこぼれそうなくらい山盛りで、「でか!」「つめたー」と、大喜びで食べていました。



ゼウス選手(左)と SHINGO★西成さん(右)

今年は全日本プロレスのゼウス選手が慰問して下さい、チャンピオンベルトを見せてもらったり、一緒に写真を撮ってもらったり、本物のプロレスラーの体格を見て児童はビックリしていました。

また、創立式典に来園して頂いたヒップホップMCのSHINGO★西成さんと去年のPL花火当日にかき氷をふるまってくれた山城さん家族から

今年も冷たい山盛りのかき氷を提供して頂きました。



# 水鉄砲で遊ぼう

水遊び

日差しが照りつける中、学園グラウンドで水遊びをしました。8月10日に小学生低学年、22日に小学生高学年と中高生と2日間に分けて実施しました。開始直後からみんな水鉄砲での水のかげ合いが始まり、気が付けば児童だけでなく、職員もずぶ濡れになって終始楽しむ声が響いていました。

22日には合同会社ユー・エス・ジェイ様から頂いたミニオンの水鉄砲を背負いながら走り回り、水をかけ合いました。「きゃー、やめてー」「冷たい。でも気持ちいい」とびしょびしょになりながらも、暑い中参加した児童は気持ち



集中攻撃だ！

よさそうな顔をしていました。最終的には、水を汲み運ぶために用意していたバケツまでも使い「次は○○ちゃんにかけよう」「次は○○先生にしよう」と相談し、貯めた水を頭からかけられたり、追いかけられたり、みんな楽しんで遊びました。



野球が大好き 帰園後、大きなA君は中学生職員から「今日は、なに迷うことなくどうだった？」と尋ねられたA君。真顔で「一回坂道でコケたけど大丈夫やった」と・・・なんと自転車車の感想試合の話じゃなく「そっちの話？」と職員の話の誘いをしました。

野球部に入部しました。中学生にもなる練習試合は他校へ出掛けます。自転車車が苦手なA君はこれを機に自転車も練習をしてなんとか乗られるようになりまし

そのA君が先日初めて他校へ練習試合に出かけました。

## ほのぼの コラム 『え？そっちの話？』

試合は引き分けだった。

そのA君が先日初めて他校へ練習試合に出かけました。



# ご慰問・ご寄贈 ありがとうございます。

R2.5.7~R2.8.31

敬称略・順不同

西峯嵩・柏原市民生児童委員協議会会長中野重和・柏原地区更生保護女性会・山本茂・宮田雄介・門司一徹・株式会社キューソー流通システム枚方第二営業所・高比良久美・(株)たかくら新産業代表取締役社長高倉健・かしわらオカダ通り商店街協同組合・Anyアート柏原芸術祭実行委員会連携事業土井邦敏・荻野知行・真宗大谷派難波別院・くるくる布リユースクラブ・つつみの里デイサービス・松岡雅美・酒井誠士/沙織・柏原市役所子ども政策課・ポッカサッポロ&ピバレッジ株式会社・天野映・中萩賢三・柏原東地区福祉委員・(株)チュチュアンナ・小川義樹・高見文子・(株)万代・小西智子・(株)ネオグラフィック代表取締役工藤正樹・アイザワユイ・加藤吉宏・(株)フレーベル館出版部・(株)大阪丸市 北畑部長・小林友香・大木恭司・高見・日本コカ・コーラ(株)守山工場ゼネラルマネージャー工場長梶原隆雄・山本彩子・NPO法人エスペランサ・大阪南ロータリークラブ会長下條泰利・山本商会山本茂人・(株)ジャパノクリエイトグループ・(株)トータルデザインセンター・直長昌教・協同食品株式会社・大阪府玩具/人形問屋協同組合連合会・(株)大阪の味本舗・佐川急便(株)総務部・長福運送(株)社長大北・阪神設備代表者山城元治・眞錦創建代表林田眞・NPO法人クロスワイズ・一般社団法人日本生活文化推進協議会・屋久島東部茶生産組合・合同会社ユー・エス・ジェイ代表者社長CEOJ. L. ポニエ・世界平和女性連合大阪第14連合・柏原市民生児童委員協議会

# 絵画 コンクール

高校生の部 金賞  
驟雨(しゅうう)



高校生の部 銀賞  
炎炎の消防隊

高校生の部 銅賞  
クレヨンしんちゃん



## 何作ろうかな？

廃材工作

自粛生活が長くなり、外へ出掛けずに学園内で楽しく過ごすために廃材工作をする事にしました。小学生に声をかけるとたくさん希望があったので、低学年と高学年の2回に分けて実施しました。職員で協力して、プリンカップやプラスチックの容器、ガムテープやトレットペーパーの芯など様々な廃材を集めました。当日会場の多目的ホールで多くの廃材を目にした児童は「早く作ろうよ」と創造力を膨らませていました。

初回の低学年は幼稚園での経験を思い出し「キリンを作ろう」「アイスのお店屋さん作る」「僕は戦車」と次々に見立てていきます。「首はどつやつつて繋げよう?」「ロケットと発射台はできたけどどうやったら飛ばせるやる?」と試行錯誤し、職員からのアドバイスをもらいながら、出来上がると「先生、見て」とニコニコ笑顔が止まりませんでした。

2回目の高学年は、「何作ろうかな?」「どんなん作ったらいいの」「全然分からへん」と取り掛かりに悩んでいましたが、作り始めると没頭し、時間を忘れ様々なアイデアを駆使し、共有し合いながら一人何作品も作りました。

熱中して作っていたこともありあたりには物が散乱していましたが、全員で協力して、まだ使える物とごみを分別して集めるとすぐに元の状態に片付きました。

職員にとっても初めての取り組みで不安がありました。2回とも大変好評で「またやりたい」との声がたくさん聞かれたので3回目を開催することになりました。

3回目は職員が事前に作った工作や写真を見てもらいある程度作品のイメージを決めてから取り掛かりました。その中でも人気だったのがギターでした。箱に輪ゴムを数本かけて、持ち手を作り「じゃらん♪ギター出来た」と簡単に作りあげました。児童の中にはこの日の為に図書館で工作の本を借りて、作り方を見ながら、黙々と作る児童もいました。

3回ともに児童は作った作品でしばらくホールで遊びましたが、作品をそれぞれ部屋に持ち帰ってからも遊ぶ様子が見られました。※作品の一部を紹介します。

力作をご覧ください。

## 編集後記

コロナ禍に追い打ちをかけるように「観測史上初めて」「過去最大級」と気温や気候が生活を脅かす日々が続く、季節を感じる事が年々難しくなり、カレンダーと日常に違和感を覚えます。行事の中止や延期で学校生活からも季節感がなくなりました。せめてこの新聞で皆さんに季節感を届けられたいです。手洗い、うがいを忘れなく、第3号が届くことを楽しみにお待ちください。

広報委員一同

